

所得証明書(昨年度の所得金額)見本

この資料は、申請書における【2019年分(令和元年分)および2020年分の所得証明書の金額】を記入する際の参考例です。
 地域によって様式は変わりますが、「どの数字を記入すればいいかわからない」という方は下記を参考にしてください。

市民税・県民税（所得・非課税）証明書

(住所) ○○市×××
 (氏名) 神戸学院 太郎

令和2年度（令和元年分）

「総所得金額」や「合計所得額」など“所得”の総計が示されている数字があれば、その数字を昨年度の所得にご記入ください。

総所得金額	¥2,520,000	課税総所得金額	×××
-------	------------	---------	-----

(給与収入)	¥1,200,000
給与所得	¥500,000
不動産所得	¥20,000
営業所得	¥2,000,000
以下余白	

雑損控除	×××
医療費控除	×××
社会保険料控除	×××
小規模共済控除	×××
生命保険料控除	×××
地震保険料控除	×××
配偶者特別控除	×××
不要障害者控除 特障 0人 他障 0人 (うち同特 0人)	×××

配偶者 扶養控除	配偶者 無 一般扶養 0人 特定扶養 0人 老人扶養 0人 (同老 0人)	×××
年少扶養親族	0人	(控除対象外)
学控除	0人	×××
本人障害者控除	0人	×××
基礎控除		×××

総所得金額はこれらのような所得を合計した金額になります。
 雑所得などがある方で、それが臨時的な(年収には含まない)所得である場合は、総所得金額からその金額を差し引いてご記入ください。

主たる生計者が給与所得者の場合

給与明細 2021年 5月
社員番号 1234 神戸学院 太郎 様
●×会社

総支給額から通勤手当（非課税分）を差し引いた金額を申請書の
“<参考情報> ■給与所得（d）が見込みの場合の
① ② ③ “ 欄に記入してください。
(例) 225,000円（総支給額）－5000円（非課税通勤手当）＝220,000円

支給	基本給	職能給	残業手当	通勤手当 (課税)	通勤手当 (非課税)	総支給額
	200,000	0	20,000	0	5,000	225,000

控除	健康保険	厚生年金	雇用保険	社会保険計	課税対象額
	11,000	20,000	640	31,640	188,360
	所得税	住民税	親睦会費		
	3,500	7,500	1,000		
					総控除額
					43,640

総支給額	総控除額	差引支給額
225,000	43,640	181,360

勤怠	出勤日数	有給日数	欠勤日数	所定内出勤
	20	0	0	160 : 00 : 00

所得見込みの算出に使用する金額は差引支給額（手取り額）ではありません。ご注意ください。